

令和6年度 第2回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和6年11月20日（水）

18:30～20:30

1 国・岡山県・近隣市町村の動向

岡山県主催の「地域移行実証事業連絡会」等の報告や、近隣自治体の取組の様子を確認した。隣接している津山市では、令和8年度からの土日の部活動は行わず、地域での受け皿づくりを進めるという方針を定めている。また、先月行われた国のワーキンググループの情報報告として「地域展開」改革実行期間を設ける等の骨子案の提起があり、話題となっている。

2 第1回検討委員会を受けて取組の現状

地域クラブ等の受け皿との調整をはかる「運営団体」設置において、その目的と現状を報告した。現在検討中である。また、「鏡野町部活動地域移行モデル事業」の現状・成果・課題を取りまとめ報告した。取組のなかで見えてきた課題としては、指導者への報酬、会場確保の利便性確保の依頼、地域クラブとして大会参加する際の規定の確認や克服の手法、吹奏楽部からは楽器のメンテナンスや運搬に係わる費用負担、生徒の移送について 等、今後検討をしていかねばならない。

3 鏡野町立中学校 部活動地域移行 ロードマップについて

事務局から、今後の取組を進める目安となるロードマップを提案した。基本的には国のガイドラインに基づき、令和5年度から7年度を改革推進期間としているガイドラインを参考に、休日の地域移行をめざし、取組を進め、最終的には平日もめざして取り組むという方針である。指導者をはじめ受け皿づくりの進展具合も勘案しながら、実現をめざしたロードマップにしたいと思い、次回の検討会で最終決定する予定である。

4 今後の取組について

事務局を中心に、受け皿づくりを部活動の種目ごとに探り、取り組んでいく。モデル事業の取組の中で確認された課題への対応を検討していく。また、運営団体の設置に向け検討を継続的にすすめる。

地域クラブを設立した際の大会参加についての確認を進め、指導者確保のための行政の支援の在り方、会費の徴収等についても方向を示す必要がある。